

IMPACT BOOK 2023



2023年6月27日



私たちのコミットメント ～ 共創を通じた「社会課題解決企業」へ～

私たちは、「お客さまのお役に立つために進化し続ける」「人の成長＝企業の成長」という経営理念に基づき、「すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブな社会を共に創る」ことをミッションとしています。

つまりは、金融と小売の融合を通じて、経済的な豊かさだけでなく精神的な豊かさとしての「しあわせ」を提供すること、一部の人たちだけでなく、すべての人が「しあわせ」になれる社会の実現をめざすことを意味しています。

しかしながら、このように大きなミッションを私たちの力だけで実現することは叶いません。

そこで、私たちは、お客さまをはじめ、株主・投資家の皆さま、地域・社会の皆さま、お取引先さま、そして未来を担う将来世代の皆さまとの共創を通じてミッションの実現に取り組んでいきます。

丸井グループは、ステークホルダーとの「共創経営」を実践することで、すべてのステークホルダーの「利益」と「しあわせ」の調和を実現し、ビジネスを通じて社会課題の解決と利益の両立をめざします。

第1章 丸井グループがめざすインパクト

- 1-1. 経営理念とインパクトの関係
- 1-2. 丸井グループのインパクトの定義
- 1-3. 丸井グループが取り組む社会課題とビジョン2050
- 1-4. インパクトと収益を両立を実現するビジネスモデル
- 1-5. ビジョン2050の達成に向けたインパクトの設定
- 1-6. インパクト2.0と2030年インパクトKPIと財務KPI

第2章 インパクト達成に向けた道筋

- 2-1. インパクトを創出する構造
- 2-2. 丸井グループのロジックモデルの全体像
- 2-3. 3つのテーマのロジックモデル

第3章 インパクトの取り組みの成果

- 3-1. 2023年3月期 主な取り組みの成果と価値創造ストーリー
- 3-2. インパクトの取り組み① Kesou
- 3-3. インパクトの取り組み② ヘラルボニー
- 3-4. インパクトの取り組み③ 応援投資
- 3-5. インパクトの取り組み④ 人的資本投資

第4章 インパクトKPIの進捗状況

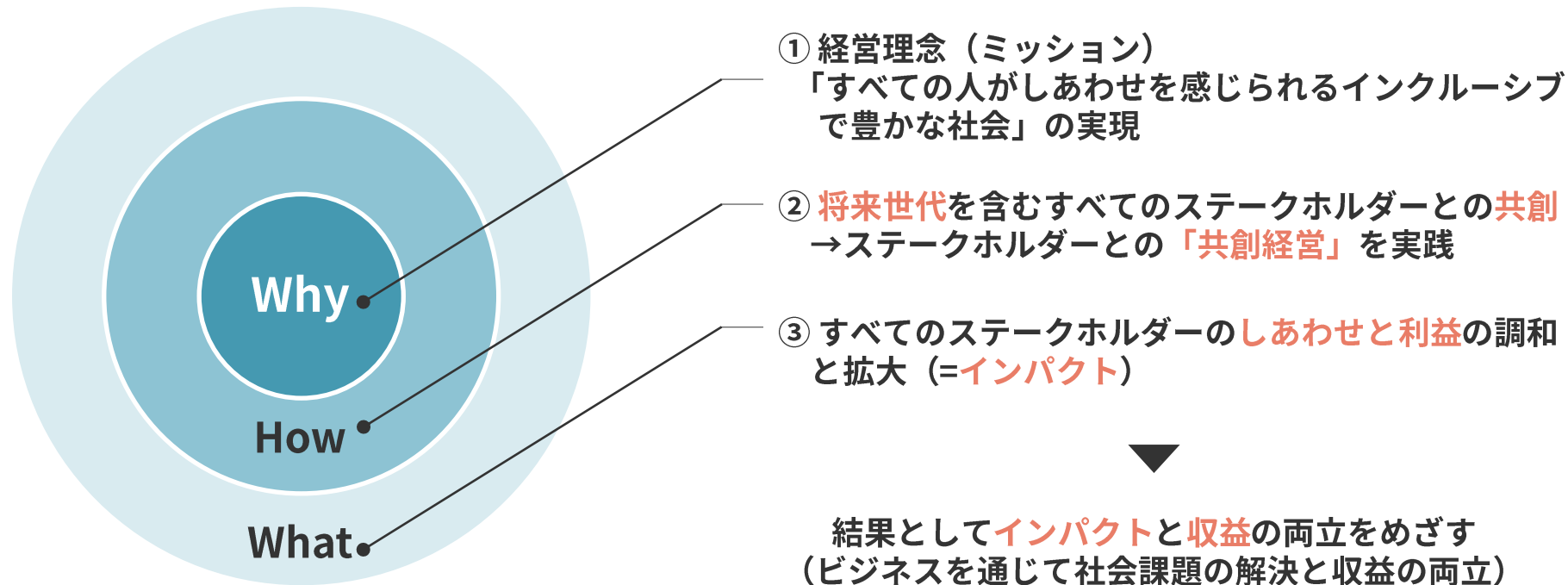
- 4-1. 2023年3月期 ハイライト
- 4-2. インパクト① 将来世代の未来を共に創る
- 4-3. インパクト② 一人ひとりの「しあわせ」を共に創る
- 4-4. インパクト③ 共創のエコシステムをつくる

Appendix

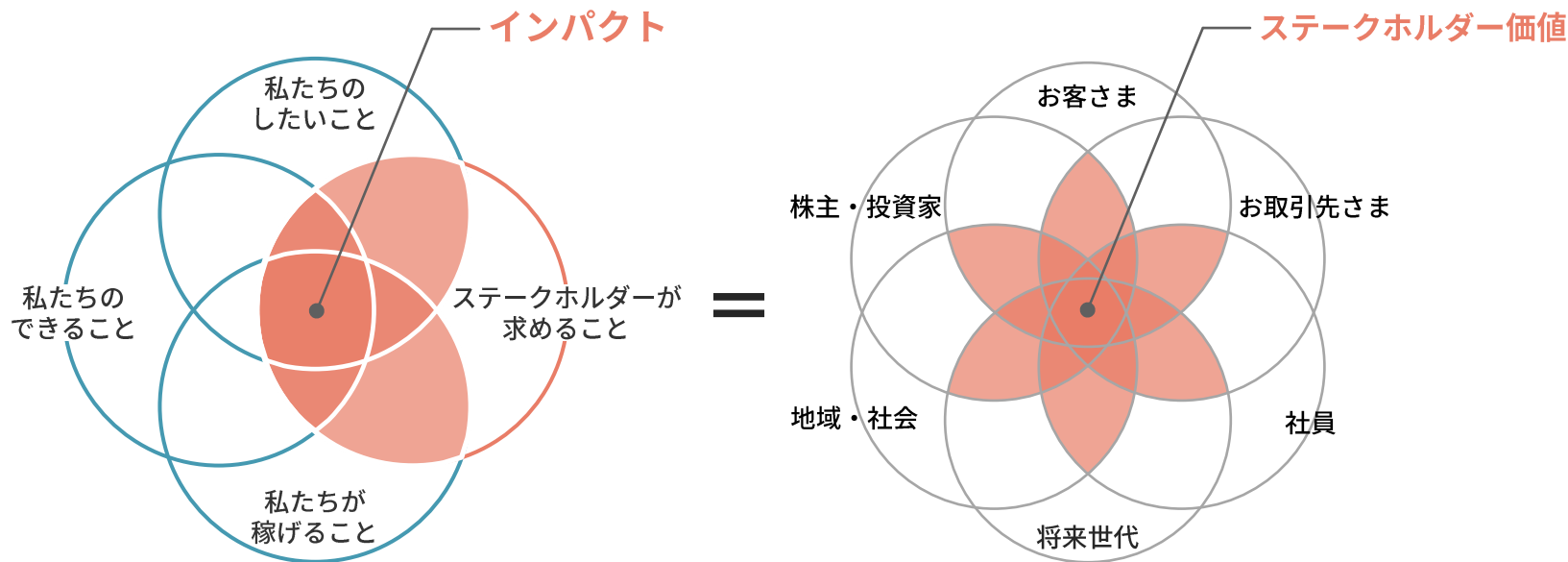
- 1. インパクト実績の集計方法について
- 2. 脱炭素社会の実現 ～電力のトレーサビリティ～
- 3. 一人ひとりのお金の使い方を応援 ～応援投資～

第1章 丸井グループがめざすインパクト





1-2 丸井グループのインパクトの定義



インパクトの生み出す価値 = ステークホルダー価値 = 企業価値

* Héctor García, Francesc Miralles 「IKIGAI」を参考に当社作成
<https://www.penguin.co.uk/books/1112754/ikigai/9781786330895.html>

1-3 丸井グループが取り組む社会課題

■ 課題を抱える世界

環境

気候変動と資源枯渇
サーキュラーエコノミー

再生可能エネルギー
へのシフト

生態系の破壊

経済

貧困や飢餓

アジアで拡大する
中間所得層

IoTの普及
AIによる支配

地域・社会

これまで見過ごされて
きた人（障がい者等）

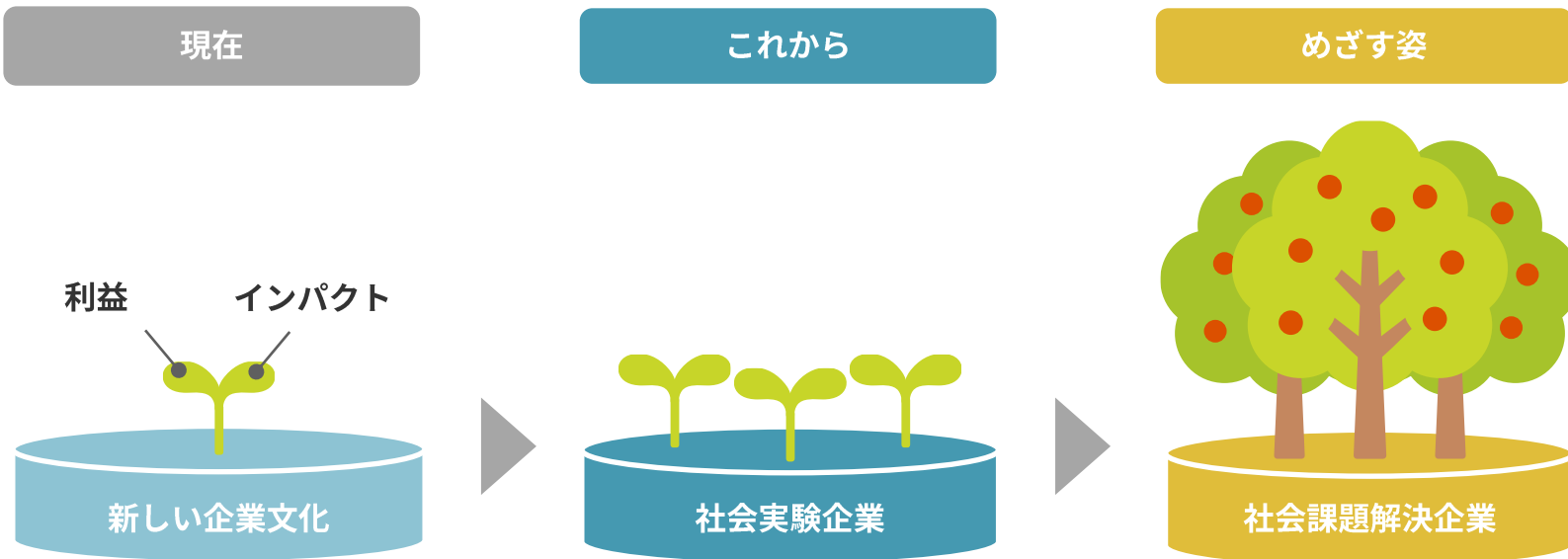
先進国で拡大する
「孤立」

世界中の国家間の
つながりと分断

- ・インパクトと利益の二項対立を乗り越え、社会課題解決企業へと進化

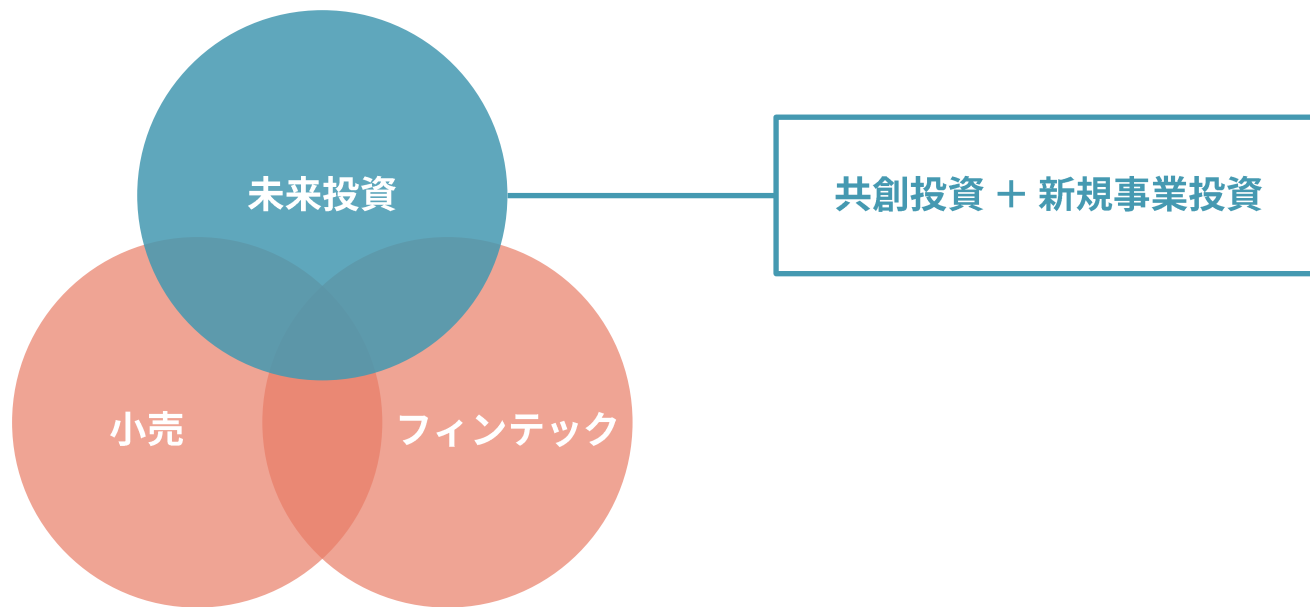
<ビジョン 2050>

インパクトと利益の二項対立を乗り越える

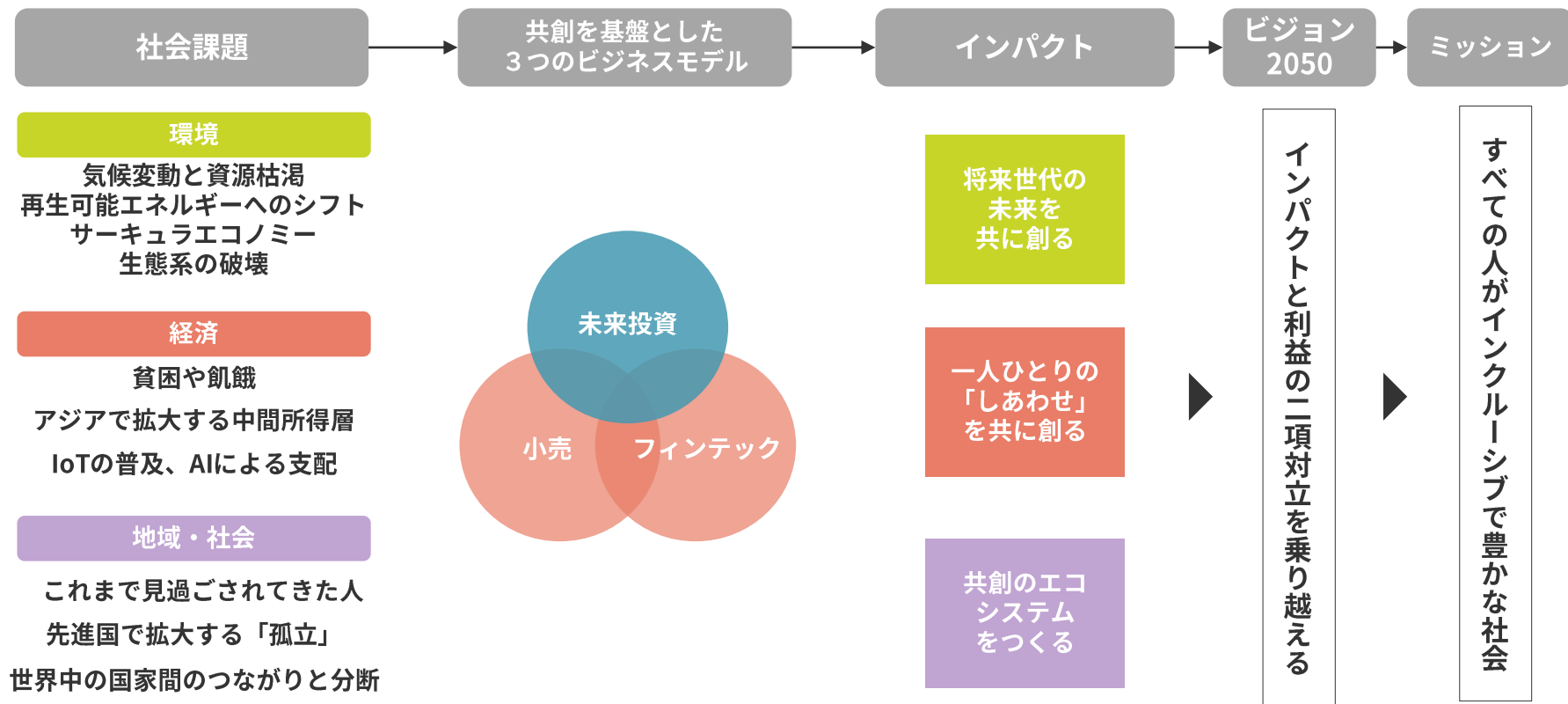


1-4 インパクトと収益の両立を実現するビジネスモデル

- ・三位一体のビジネスモデル推進により、「インパクト」と「収益」の両立をめざす



1-5 ビジョン2050の達成にむけたインパクトの設定



テーマ	重点項目
将来世代の未来を 共に創る	脱炭素社会の実現
	サステナブルな消費・暮らしの革新
	将来世代の「事業創出」を応援
一人ひとりの「しあわせ」 を共に創る	一人ひとりの「好き」を応援
	一人ひとりの「個性」を応援
	一人ひとりの「健康」を応援
	一人ひとりの「お金の活かし方」を応援
共創のエコシステムを つくる	共創の場づくり
	働き方と組織のイノベーション

1-6 2030年インパクトKPIと財務KPI

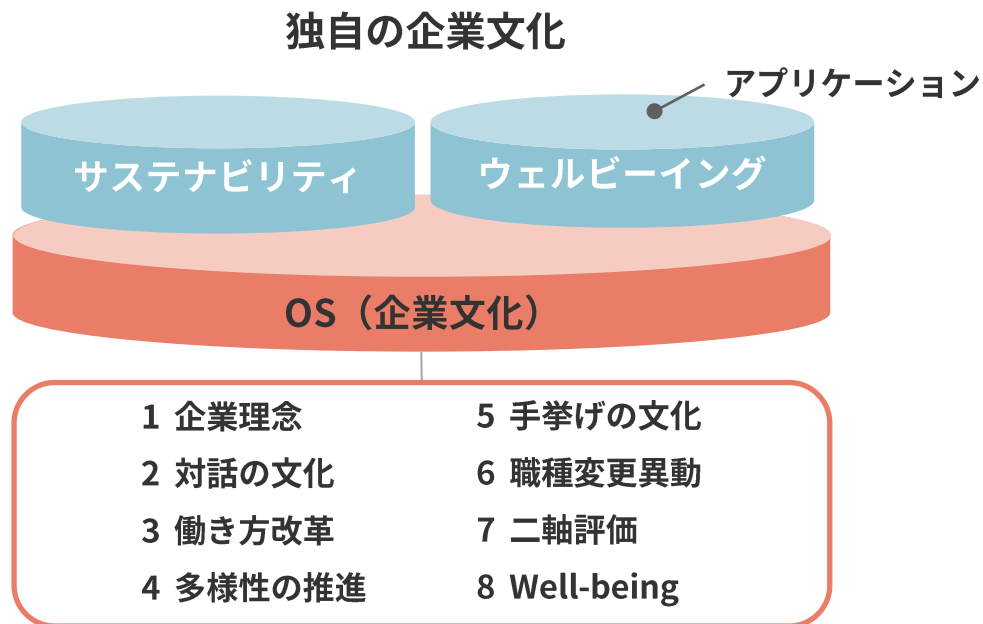
テーマ・重点項目		2030年 KPI		財務価値
将来世代の 未来を 共に創る	脱炭素社会の実現	CO2の削減	100万t以上	取扱高 6,800億以上 LTV 900億以上
	サステナブルな消費・ 暮らしの革新	「サステナブルな消費・暮らしの革新」に 参画する利用者	100万人以上	
		「サステナブルな消費・暮らしの革新」の 選択肢を提供する企業	1,000社以上	
	将来世代の「事業創出」を応援	将来世代の事業家への出資	100件以上	
一人ひとりの 「しあわせ」 を共に創る	一人ひとりの「好き」を応援 一人ひとりの「個性」を応援 一人ひとりの「健康」を応援	「好き」「個性」「健康」を応援する カード利用者	300万人以上	取扱高 1.3兆以上 LTV 2,000億以上
		「好き」「個性」「健康」を応援する企業	200社以上	
	一人ひとりの 「お金の活かし方」を応援	国内外 若者等の金融サービス利用者	1,000万人以上	取扱高 3.5兆以上 LTV 2,500億以上
		共創パートナーを通じた応援投資	世界20カ国以上	
共創の エコシステム をつくる	共創の場づくり	共創の場を創出する企業	350社以上	IRR 10%以上
		共創エコシステムへの参画者	1万人以上	
	働き方と組織のイノベーション	イノベーション創出人材	5,000人以上	

第2章 インパクト達成に向けた道筋

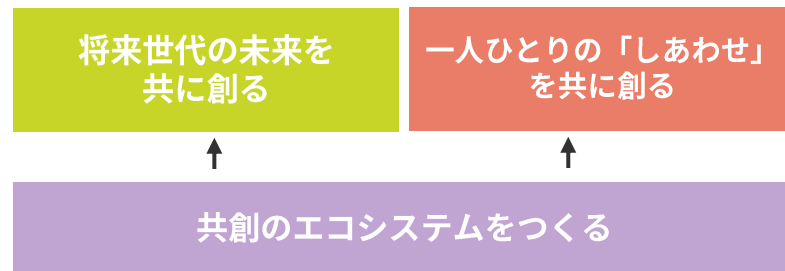


2-1 インパクトを創出する構造

- ・ 独自の企業文化を活用し、インパクトを創出



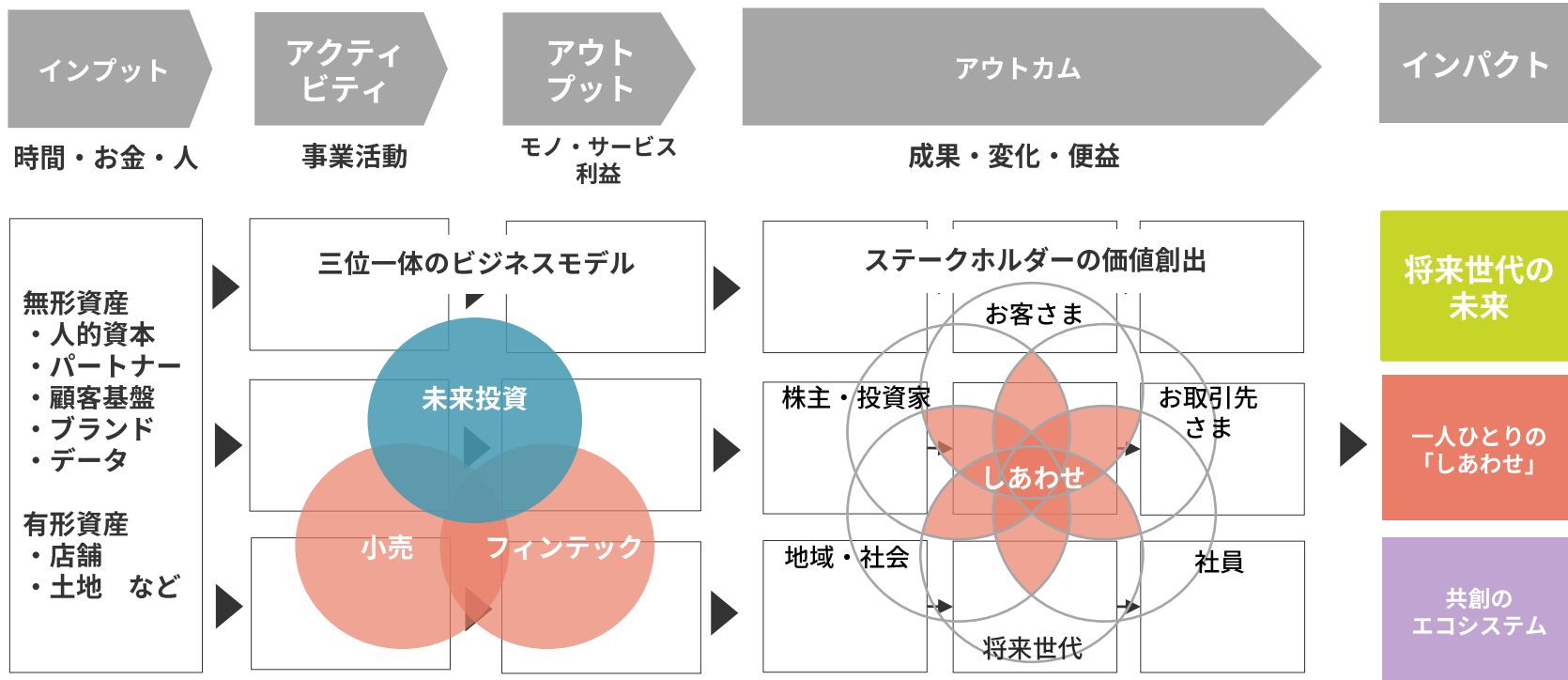
インパクトを創出する構造



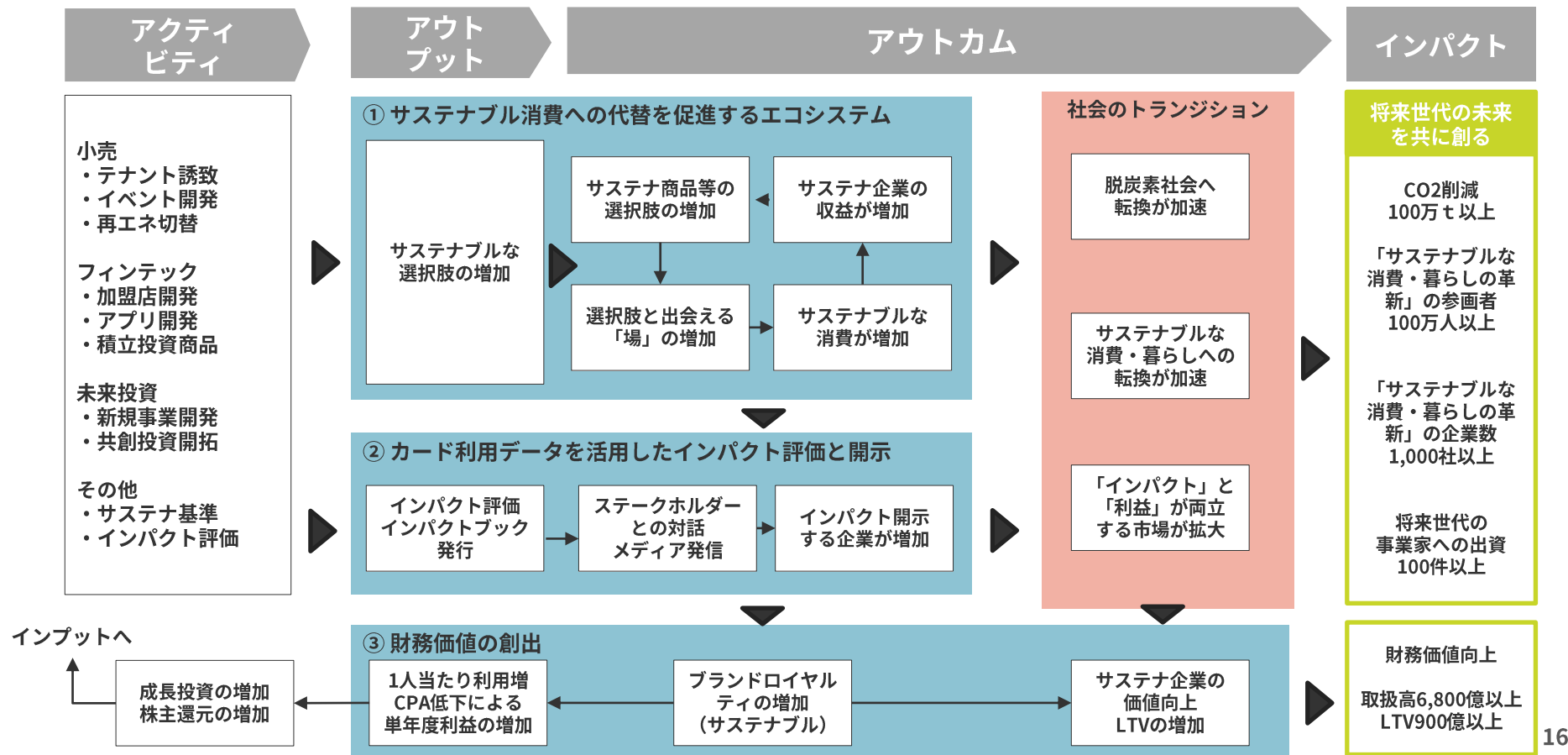
共創のエコシステムを通じて
事業/組織のイノベーションを実現

2-2 丸井グループのロジックモデルの全体像

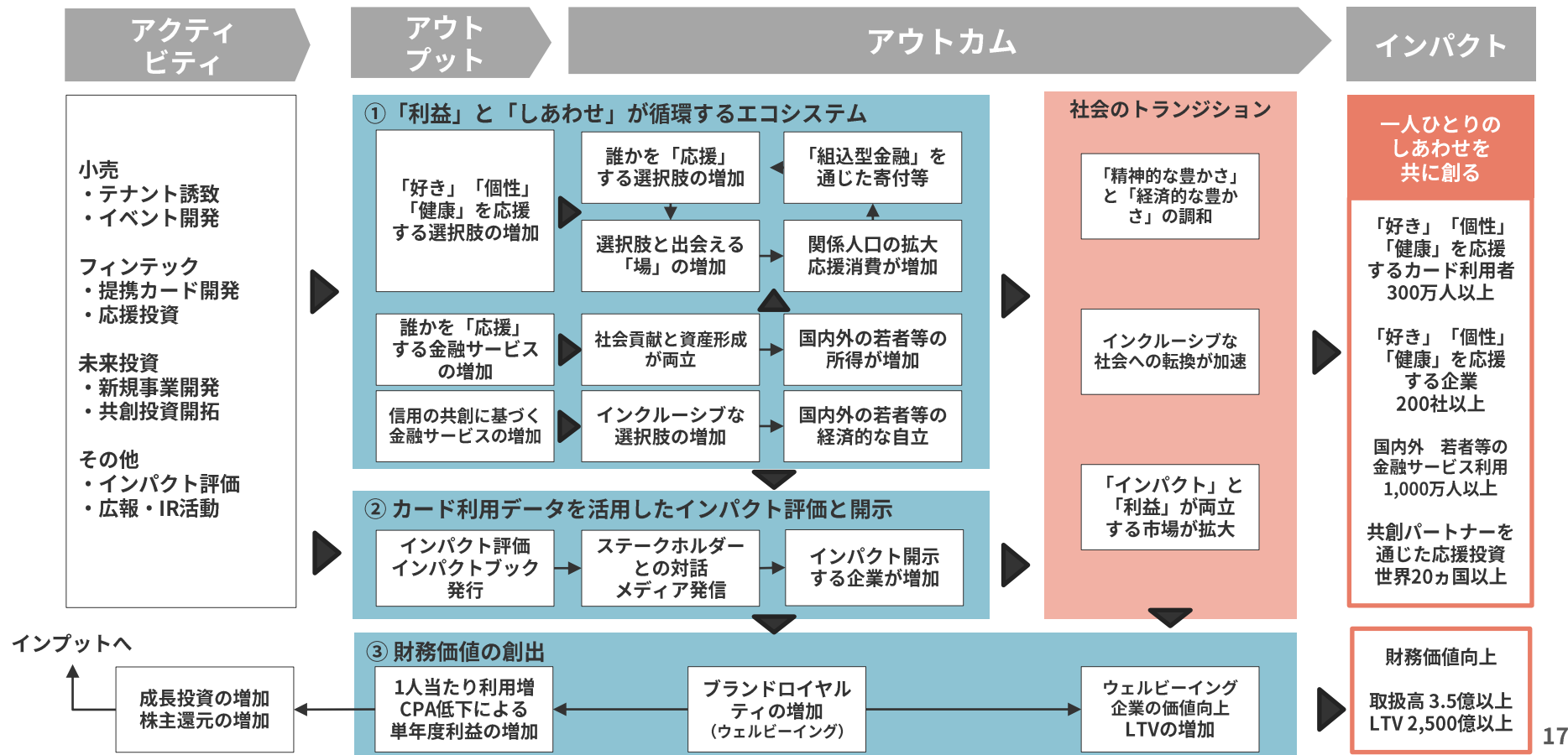
- ・事業戦略とストーリーをロジックモデルへ落とし込み、インパクト達成までの道筋を明確化



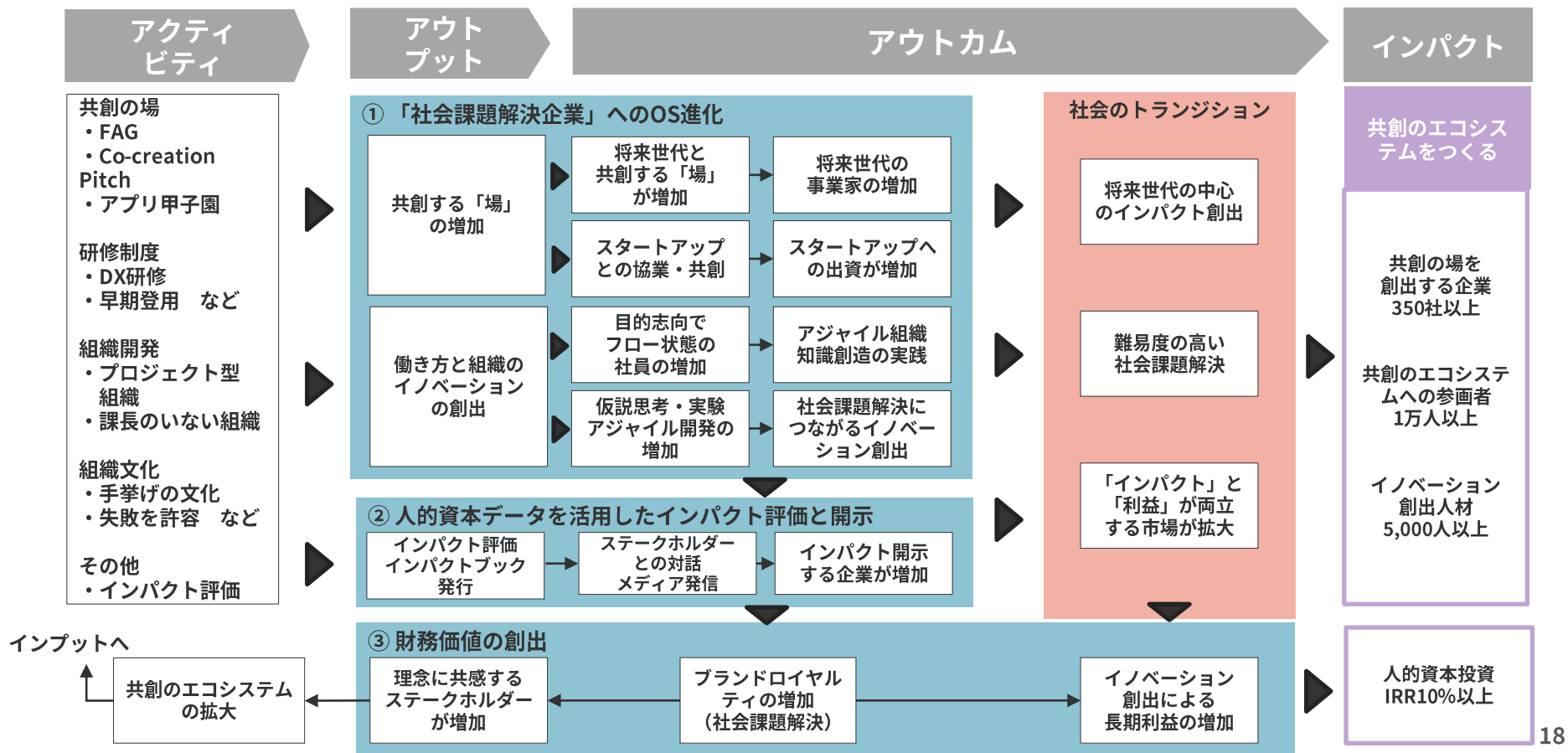
2-3 ロジックモデル① 将来世代の未来を共につくる



2-3 ロジックモデル② 一人ひとりの「しあわせ」を共につくる



2-3 ロジックモデル③ 共創のエコシステムをつくる



第3章 インパクトの取り組みの成果



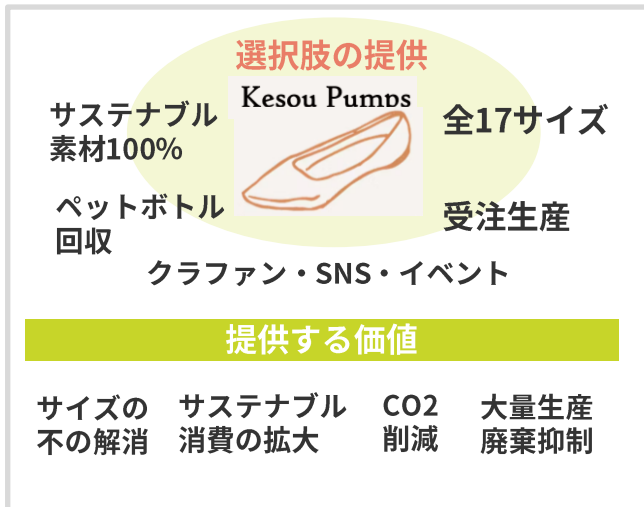
3-1 2023年3月期 主な取り組みの成果と価値創造ストーリー

重点項目		具体的な取り組み
将来世代の 未来を共に創る	脱炭素社会の実現	Kesou
	サステナブルな消費・暮らしの革新	
	将来世代の「事業創出」を応援	
一人ひとりの 「しあわせ」 を共に創る	一人ひとりの「好き」を応援	ヘラルボニー 応援投資
	一人ひとりの「個性」を応援	
	一人ひとりの「健康」を応援	
	一人ひとりの「お金の活かし方」を応援	
共創のエコシス テムをつくる	共創の場づくり	人的資本投資
	働き方と組織のイノベーション	

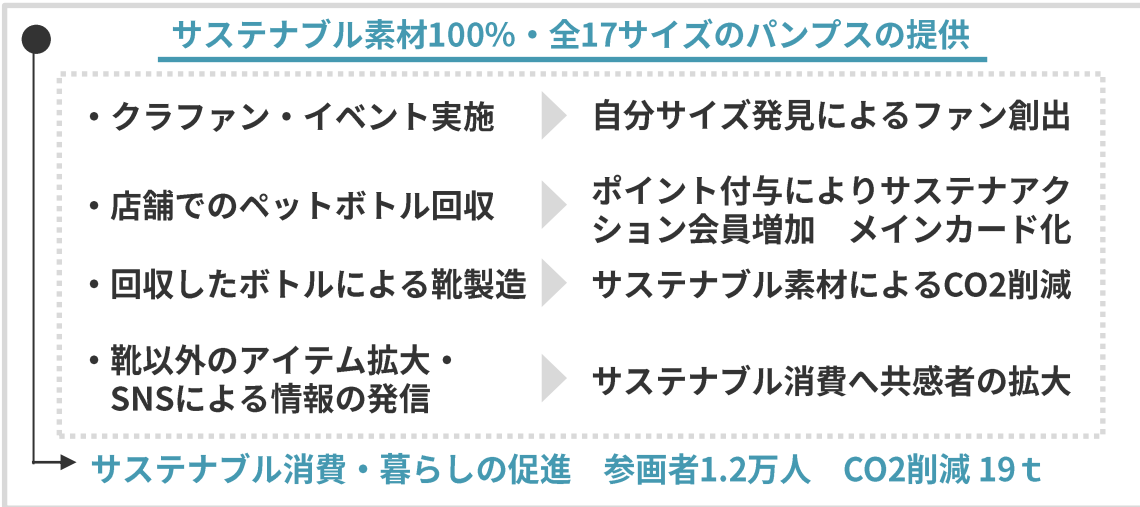
3-2 インパクトの取り組み① Kesou

・サステナブル・個性を応援する選択肢の提供を通じ、サステナブルな消費・暮らしの革新と収益を両立

■ビジネスモデル



■価値創造ストーリー



■創出されたインパクト(23年3月まで累計)

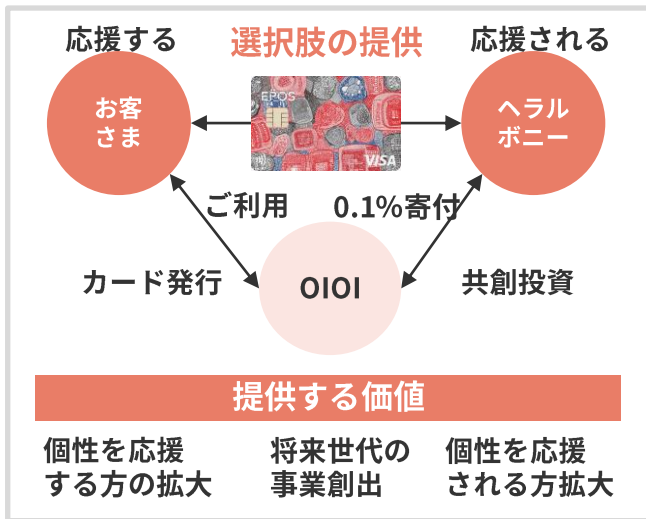
将来 世代	サステナ消費 1.2万人 (※) CO2削減 19t	しあわせ	個性を応援する人 4,000人 (Kesou 購入者)	共創の エコシ テム	イノベーション 創出人材 10名	財務 価値	取扱高 0.4億 エポスLTV 0.7億
----------	----------------------------------	------	-----------------------------------	------------------	---------------------	----------	-------------------------

※ ペットボトル回収+Kesou購入

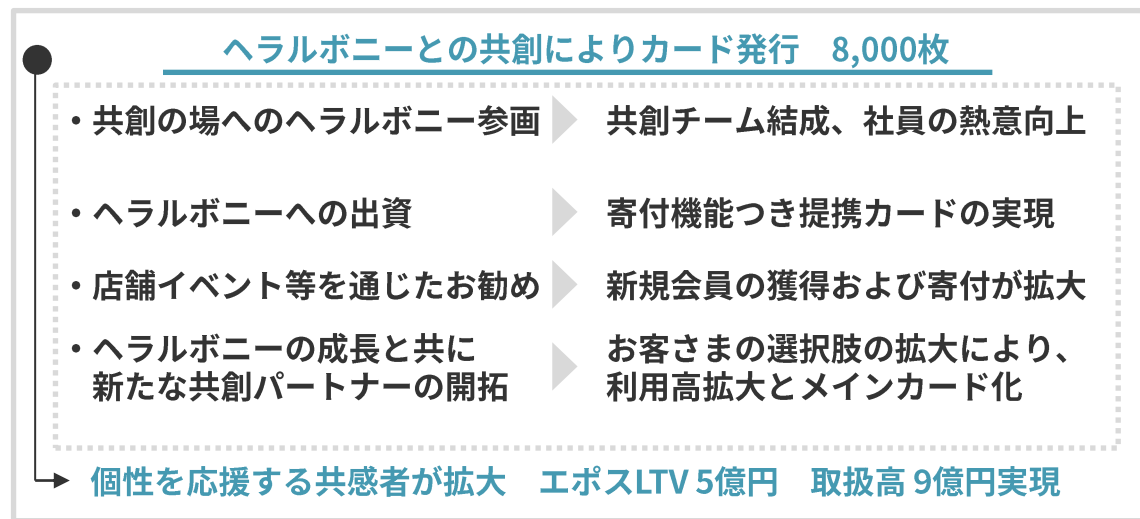
3-3 インパクトの取り組み② ヘラルボニー

- 「使うたび、社会を前進させる」ヘラルボニーカードを通じ、好き/個性の応援と収益を両立

■ビジネスモデル



■価値創造ストーリー



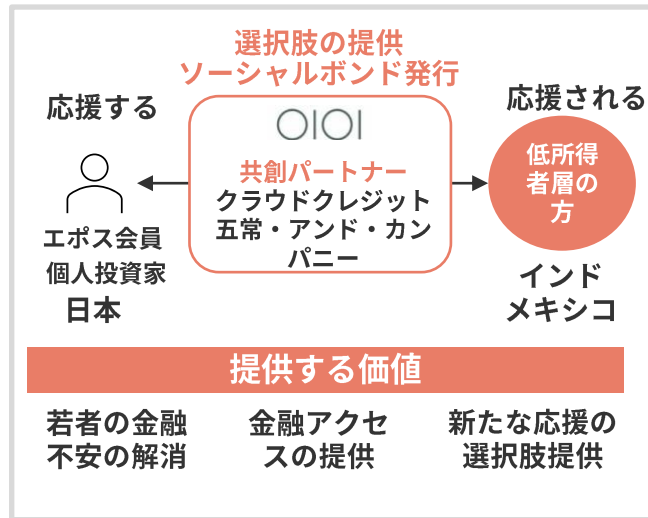
■創出されたインパクト(23年3月まで累計)

将来世代	将来世代事業創出 1社	しあわせ	個性を応援する人 8,000人	共創のエコシステム	イノベーション創出人材 30人	財務価値	取扱高 エポスLTV 9億 5億
------	-------------	------	-----------------	-----------	-----------------	------	------------------

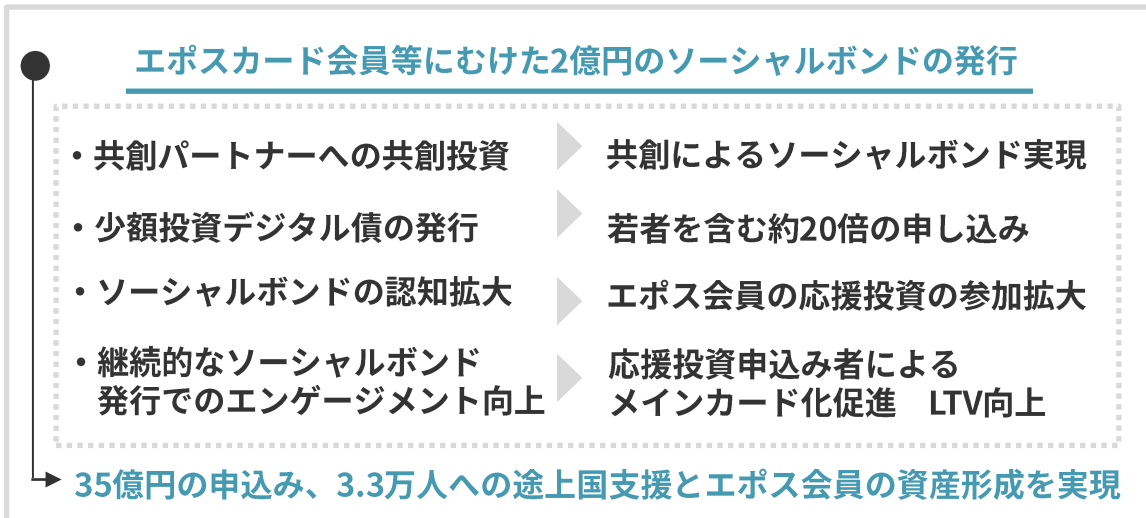
3-4 インパクトの取り組み③ 応援投資

- ・途上国の応援と資産形成を同時に実現できる、「応援投資」という新たな選択肢をお客さまに提供

■ビジネスモデル



■価値創造ストーリー



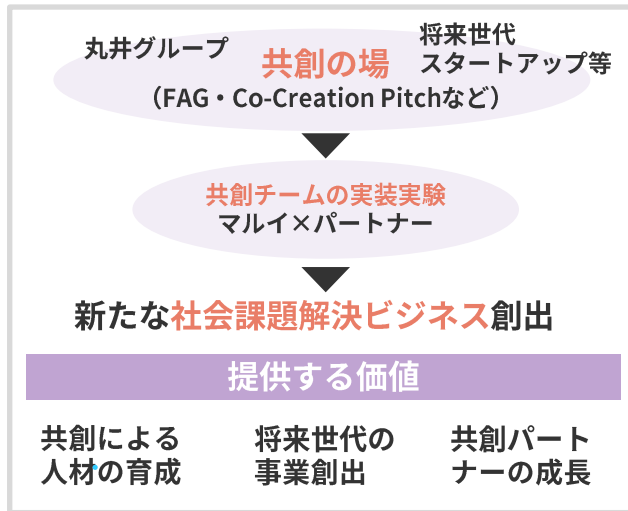
■創出されたインパクト(23年3月まで累計)

将来世代	将来世代事業創出 2社	しあわせ	金融サービスを提供された人 3.3万人 応援投資 2か国	共創のエコシステム	イノベーション創出人材 10名	財務価値	エポスLTV 6億
------	-------------	------	---------------------------------	-----------	-----------------	------	-----------

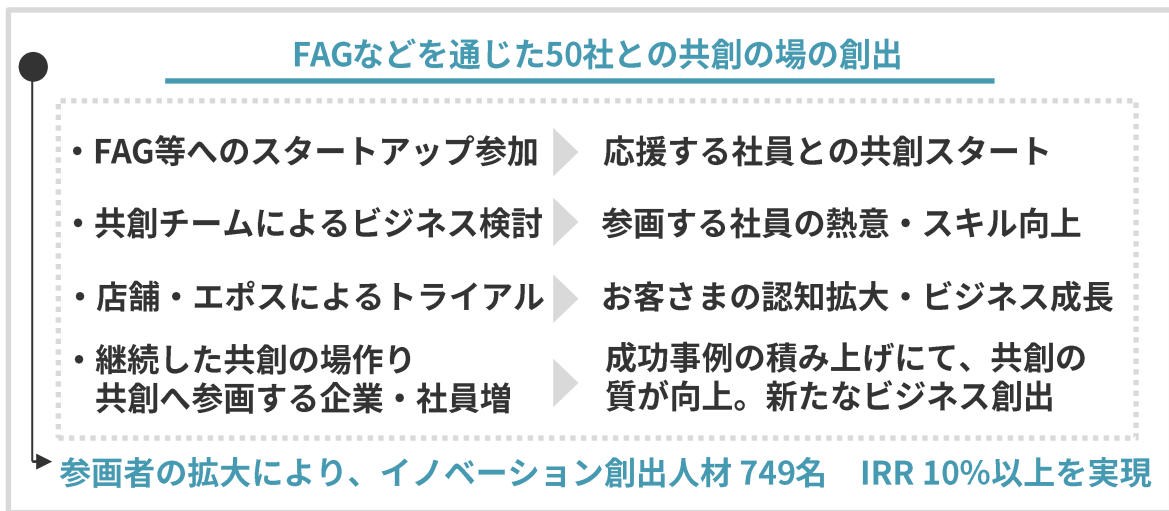
3-5 インパクトの取り組み④ 人的資本投資

・丸井グループが創出する共創の場を通じ、参画する社員と共創パートナーの成長と共にビジネスを創出

■ビジネスモデル



■価値創造ストーリー



■創出されたインパクト(23年3月まで累計)

将来世代	将来世代事業創出 3社	しあわせ	「好き・個性・健康」 応援する企業 1社	共創のエコシステム	エコシステム参画者 1,360人 イノベーション 創出人材 749人	財務価値	人材投資 91億 IRR 12.7% (期間：17.3-26.3)
------	-------------	------	-------------------------	-----------	---	------	---

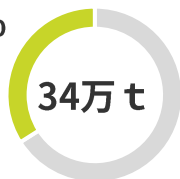
第4章 インパクトKPIの進捗状況



○ 将来世代の未来を共に創る

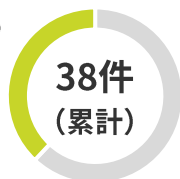
2030KPI 進捗率

34%



CO2の削減

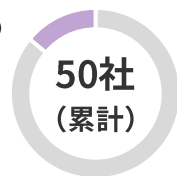
38%



将来世代への
事業創出を応援

○ 共創のエコシステムをつくる

14%



共創の場を
創出する企業

14%



共創エコシステム
への参加者

15%



イノベーション
創出人材

○ 一人ひとりの「しあわせ」を共に創る

22%



「好き」「個性」「健康」
を応援するカード利用者

25%



「好き」「個性」「健康」
を応援する企業

45%



国内外 若者等の
金融サービス利用者

10%



共創パートナーを
通じた応援投資

4-2 インパクト① 将来世代の未来を共に創る

テーマ		取り組み	2030年KPI	22.3 実績	23.3 実績	前年 増減	23.3 (累計)	進捗率 (2030年比)
将来 世代の 未来	脱炭素社会 の実現	CO2の削減	△100万t以上	△32万t	△34万t	△2万 t	△34万	34%
	サステナブルな 消費・暮らし の革新	「サステナブルな 消費・暮らしの革新」 に参画する利用者	100万人以上	—	—	—	—	—
		「サステナブルな 消費・暮らしの革新」 の選択肢を提供する 企業	1,000社以上	—	—	—	—	—
	将来世代の 「事業創出」 を応援	将来世代の 事業家への出資	100件以上	3件	9社	+6社	38社	38%

4-3 インパクト② 一人ひとりの「しあわせ」を共に創る

テーマ		取り組み	2030年KPI	22.3 実績	23.3 実績	前年 増減	23.3 (累計)	進捗率 (2030年比)
一人 ひとりの しあわせ	一人ひとりの 「好き」 「個性」 「健康」 を応援	「好き」「個性」 「健康」を応援する カード利用者	300万人以上	45万人	65万人	+20万人	65万人	22%
		「好き」「個性」 「健康」を応援する 企業	200社以上	33社	49社	+16社	49社	25%
	一人ひとりの 「お金の活かし方」を応援	国内外 若者等の 金融サービス利用者	1,000万人以上	419万人	445万人	+26万人	445万人	45%
		共創パートナーを 通じた応援投資	世界20か国 以上	—	2カ国	+2カ国	2カ国	10%

4-4 インパクト③ 共創のエコシステムをつくる

テーマ		取り組み	2030年KPI	22.3 実績	23.3 実績	前年 増減	23.3 (累計)	進捗率 (2030年比)
共創の エコシ ステム	共創の場づくり 働き方と組織の イノベーション	共創の場を 創出する企業	350社以上	18社	32社	+14社	50社	14%
		共創エコシステム への参画者	1万人以上	550人	810人	+260人	1,360人	14%
		イノベーション 創出人材	5,000人以上	338人	411人	+73	749人	15%

Appendix

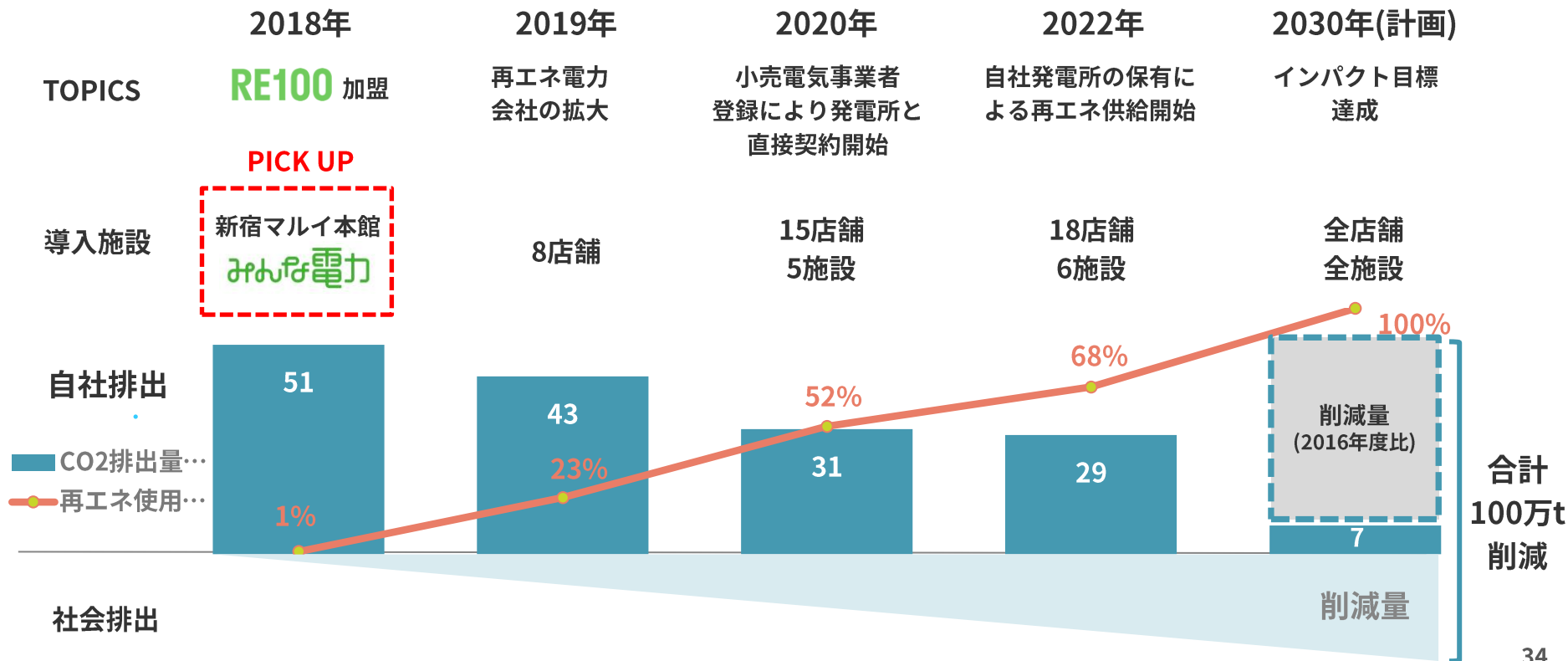
テーマ	重点取り組み		定義	内容
将来世代の未来	脱炭素社会の実現	CO2の削減	再生可能エネルギーへの切替え等を通じたGHG排出量削減	- 自社排出削減（Scope1+2+3） ※17年3月期基準 - みんな電力利用客の拡大による社会排出削減（Scop4）など
	サステナブルな消費・暮らしの革新	「サステナブルな消費・暮らしの革新」に参加する利用者	サステナブル基準を満たした加盟店・テナントでの利用者数	- エポス加盟店での利用者数 - 丸井定借テナント利用者数 ※サステナブル基準策定後に実績集計
		「サステナブルな消費・暮らしの革新」の選択肢を提供する企業	サステナブル基準を満たした加盟店・テナント・共創投資先	- エポス加盟店数 - 丸井定借テナント企業数 - 共創投資先数 ※サステナブル基準策定後に実績集計
	将来世代の「事業創出」を応援	将来世代の事業家への出資	将来世代事業家への出資	将来世代への共創投資件数（累計） （39歳以下）

テーマ	重点取り組み	定義	内容
一人ひとりのしあわせ	一人ひとりの「好き」を応援	「好き」「個性」「健康」提携カードの利用者	・「好き」「個性」「健康」提携カードの利用者
	一人ひとりの「個性」を応援	「好き」「個性」「健康」提携カードの利用者	・「好き」：アニメ・Kコスメ・KPOP など ・「個性」：LGBTQ・プラサカ・サイズ など ・「健康」：プラネタリーヘルス・フェムテックなど
	一人ひとりの「健康」を応援	「好き」「個性」「健康」提携カードの提携先企業	・社会課題解決（自動寄付等）につながるカード発行（ヘラルボニー、とくびぐみ等） ・アフィニティカード（ちいかわ等）
	一人ひとりの「お金の活かし方」を応援	国内外 若者等の金融サービス利用者	・ファイナンシャルインクルージョンの機会を提供するサービス利用者数 ・「信用の共創」によるカード発行（39歳以下、GTNカード） ・RoomiDの利用者数 ・応援投資による受益者数 ・tsumiki証券口座数
		共創パートナーを通じた応援投資	・社会貢献と資産形成を両立する投資 ・応援投資（ソーシャルボンド）

テーマ	重点取り組み		定義	内容
共創の エコ システ ム	共創の場 づくり	共創の場を 創出する企業	丸井グループの基盤を通じて、イノベーション創出する「場」に参加した企業数 (チーム・団体・コミュニティ含む)	- Future Accelerator Gateway - Co-Creation Pitch - アプリ甲子園 等
		共創エコシステム への参画者	丸井グループの基盤を通じて、イノベーション創出する「場」に参加した人数 (当事者+応援社員)	
	働き方と 組織のイノ ベーション	イノベーション 創出人材	イノベーション創出する組織・プロジェクト・社内研修等の人数 (社員のみ、累計人数)	- プロジェクト型組織 (共創チーム、公認イニシアチブ等) - DX研修 - Muture、okos、CMA等

2-1 脱炭素社会の実現 2030年 CO2削減100万tへの道のり

- 再生可能エネルギーの活用による自社排出削減で、CO2 100万t削減達成へ



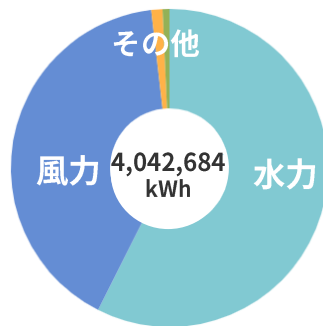
2-2 脱炭素社会の実現 再生可能エネルギーへのこだわり～新宿マルイ本館～

- 再生可能エネルギー100%でCO2削減を実現、みんな電力の「顔の見える発電所」を指定することで、電力のトレーサビリティを確保

新宿マルイ本館



2023年3月期
年間使用量と内訳



＜再エネ使用量とCO2排出削減量＞

	使用量(kWh)	CO2削減量(t)※
2023年3月期	4,042,684	1,843
累計(2017年3月期～)	18,565,302	8,466

※再エネ未導入時比較

みんな電力「顔の見える発電所」

風力



秋田県山本郡

ウィネット八峰
峰浜風力発電所

水力

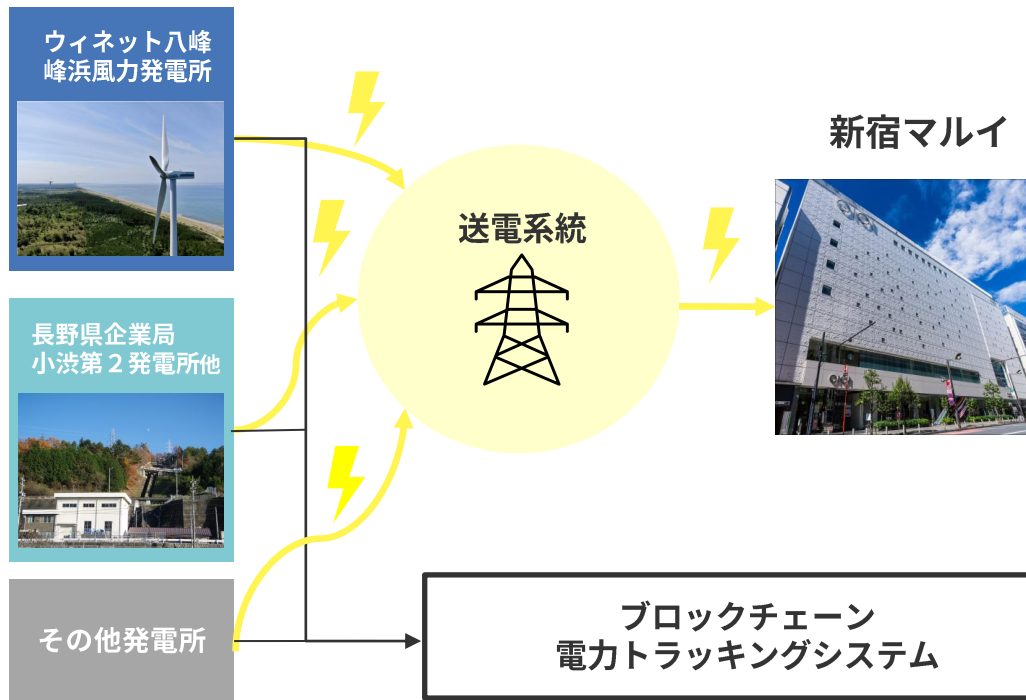


長野県企業局

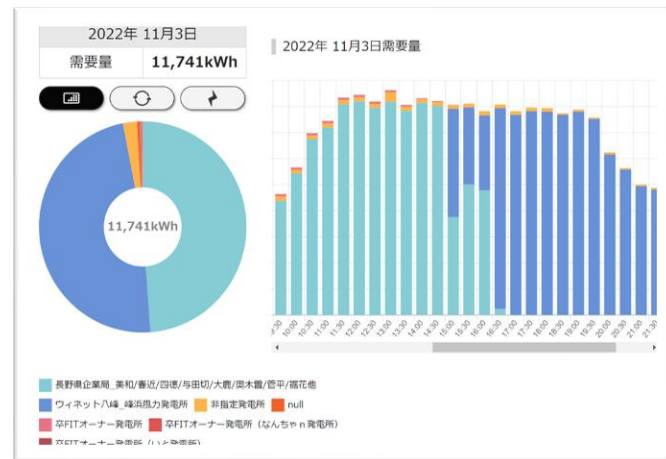
小波第2発電所他
(水力)

2-3 脱炭素社会の実現 電力のトレーサビリティについて

- みんな電力のブロックチェーン活用で、30分ごとの発電所からの電力購入量が把握可能に

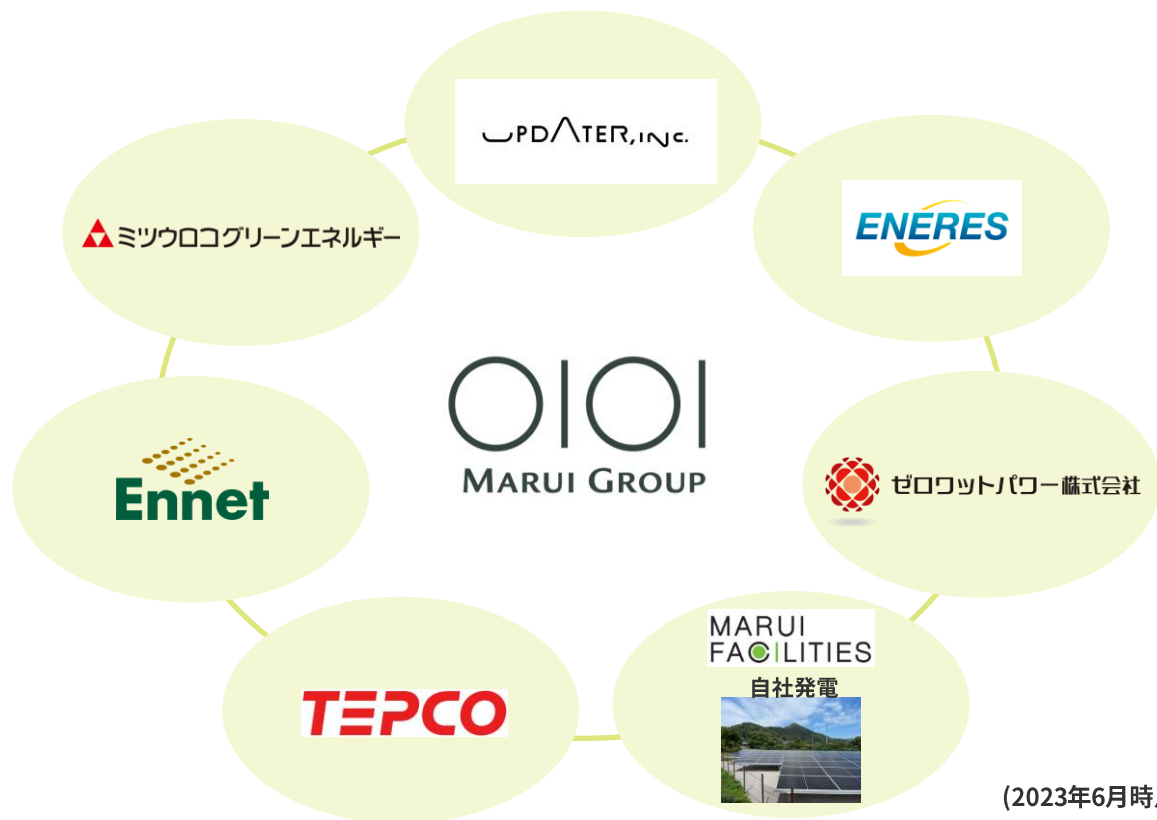


管理サイト



2-4 脱炭素社会の実現 再生可能エネルギー事業者との共創のエコシステム

- ・再生可能エネルギーに携わる方々と共に、将来世代の未来をつくる



(2023年6月時点)

3-1 一人ひとりのお金の使い方を応援 応援投資～貸付の概要～

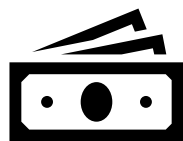
五常・アンド・カンパニー様

- ・私募債10億円を購入、貸付期間は3年間
- ・五常・アンド・カンパニー様の資金使途はマイクロファイナンスの運営資金
- ・主にインドの子会社を通じて現地でのマイクロファイナンスを実施している

クラウドクレジット様

- ・クラウドクレジット様が組成する専用ファンドに5億円を投資、ファンド期限は3年間
- ・ファンドの目的はメキシコ女性事業主向けマイクロファイナンス支援

アウトカム



貸付総額

15億円



マイクロファイナンスで
応援できた新興国の方々

約33,000名

ソーシャルbond充当合計額 ※1

(百万円)

	リテール債	第1回 デジタル債	第2回 デジタル債	合計
発行金額	1,300	121	119	1,540
発行諸費用	14	25	30	69
手取り金額	1,285	96	88	1,471
うち充当額 ※1				1,471 ※2
残高				—

※1 丸井グループ・ソーシャルbondフレームワークとソーシャルbond原則2021との適合性、およびその社会的インパクトについて独立したESGの調査・分析機関であるサステナリティクスより、セカンドパーティ・オピニオンを取得しております。

※2 (担当役員の言明)

ソーシャルbondの資金調達が丸井グループ・ソーシャルbondフレームワークで定めた適格クライテリアを満たしたプロジェクトに充当されたことを確認しました 当社取締役 常務執行役員 CFO、IR・財務・サステナビリティ・ESG推進担当 加藤浩嗣

[適格クライテリア]

- 必要不可欠なサービスへのアクセス (資金調達と金融サービス)
- 社会経済的向上とエンパワーメント
(資産、サービス、リソース及び機会への公平なアクセスとコントロール。所得格差の縮小含む、市場と社会への公平な参加と統合)



本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。お問い合わせは、I R部 marui-ir@0101.co.jpにご連絡ください。